

ハンマーダルシマートリオ ピアノの協演

Cave d'Occi Concert

「ピアノの先祖」とも言われる
ハンマーダルシマーの美しい音色
ベーゼンドルファーのピアノソロや四手連弾を
お食事とともに楽しみください。

2026 4/12 日

11:45 開場
12:15 ランチ
13:00～13:40 第一部
休憩
14:00～14:40 第二部

おひとり様 ￥8,000

ランチコース・ワンドリンク付き
(乾杯ドリンク・スープ・前菜・メイン料理・
パン・デザート・コーヒー)

カーブドッチホール
(無料駐車場有)



チケット購入



MiMi ダルシマー/ピアノ



井上道乃 ピアノ



rinamame パーカッション

プログラム

- ♪プレリュード／ラフマニノフ (ピアノソロ)
- ♪ハンガリアン舞曲／ブラームス (ピアノ四手連弾)
- ♪アストゥリアス／タレガ
- ♪無伴奏チェロ組曲／バッハ
- ♪カノン／パッヘルベル
- ♪ジムノペティ／サティ
- ♪リベルタンゴ／ピアソラ 他

宿泊

遠方からのご参加には、宿泊もごさいます。

温泉と本を楽しむ宿 ヴィネスパ

ワインと美食を楽しむ
オーベルジュ

トラヴィーニュ



宿泊予約

無料送迎バス 前日まで要予約 (0256-77-2226) 【往】J R内野駅発 11:30 【復】カーブドッチ発 15:00/16:30



カーブドッチ「ベーゼンドルファーを愛でる会」
〒953-0011 新潟市西蒲区角田浜1661 お問い合わせ 0256-77-2288

【ハンマーダルシマーについて】

台形の共鳴箱に張られた多数の弦を、ハンマーと呼ばれる木製のスティックで打って演奏する打弦楽器で、金属製の弦を打って音を出す点や音色の類似性から「ピアノの先祖」と呼ばれることもあります。起源は古典民族楽器なので諸説ありますが、9世紀頃から中近東で演奏されてきた楽器で、ペルシャ（現在のイラン）の古代楽器サントゥールから派生したと考えられています。また、それ以前の8世紀頃にアイルランドで良く似た楽器の絵が発見されています。12世紀に入り北アフリカ辺りにまで広まると、そこからムーア人達によってヨーロッパ全土に広まって行きました。形状や演奏方法・名称を変えて、近親楽器が世界中に存在します。現代ではアイリッシュ音楽やそこから派生したブルーグラスなどの演奏によく使用されているようです。



【ピアノ／ハンマーダルシマー MiMi】

国立音楽大学付属高校・同大学器楽学科ピアノ科卒業。在学中から数年にかけて渡英、St.Clare's OxfordにてGEC修了。数少ない国内のハンマーダルシマー奏者の中でも珍しい、連続したトレモロを多用した奏法を得意とし、典型的なアイリッシュチューンにこだわらず幅広いジャンルの楽曲を演奏。国内外のミュージシャン達との交流も深く、定期公演を始め全国各地の様々なライブイベントに出演し好評を博している。NHK大河ドラマ、紅白歌合戦、角川シネマコンサートなど数多くのテレビドラマや映画、アニメなどのBGM劇伴レコーディングにも出演・参加しており2021年～女優・紺野美沙子の朗読座の音楽を担当し全国各地の公演で共演中。



【ピアノ 井上道乃】

4歳よりオルガン、6歳よりエレクトーンを学び、大学在学中にエレクトーン・インストラクター第一期生となる。同時に演奏活動でも活躍し、1982年から84年までテレビ朝日の「おはようテレビ朝日」、テレビ東京の「おはようスタジオ」にレギュラー出演していた。現在もエレクトーンピアノ等の音楽指導を続けながら、各地での演奏活動や自身のコンサート活動を行なっている。最近ではジャズピアニストとして、都内近郊のライブハウスにて、ジャズセッションホストやライブ演奏を積極的に行っている



【パーカッション rinamame】

ドラム・パーカッション奏者。多国籍なメンバーで構成されたアイリッシュミュージックのバンドでは海外公演や日本国内でのツアーを行い、FUJI ROCKをはじめ多くのフェスやイベントに出演。様々なミュージシャンのライブサポートやレコーディングを行い、舞台音楽映画音楽なども努めている。こどもたちにむけて活動している「こどもりずむひろば♪」ではキッズミュージック、打楽器ワークショップ、手作り楽器ワークショップ、キッズスペース、キッズイベントなどこどもたちに音楽やアートに触れて貰う場所づくり、五感を沢山刺激する遊びを提案している。

【ベーゼンドルファー・ミレニアム2000】

音楽の都ウィーンの至宝、憧れのベーゼンドルファーのグランドピアノ。熟練の職人たちの丁寧な手作業で作られ、その音色は、ウィーンナートーンと呼ばれています。海拔800メートルのオーストリア・アルプスの、ある特定の地域で育った木材のみで作られ、6年間の歳月をかけ天然乾燥を経て完成されます。響板と同じ板を側面にも使用してピアノ全体で音が鳴るように設計されていて、ベーゼンドルファーの伸びのある豊かな響きは、この構造からきていると言われています。

カーブドッチの音楽ホールにあるグランドピアノ「ベーゼンドルファー・ミレニアム2000」は、西暦2000年を記念して世界で50台のみ製造され、そのうち一台がカーブドッチに運ばれました。マホガニーを取り入れたとても美しいデザインは王侯貴族の時代のピアノのようです。

世界で50台のうちの、「33番」。日本で一台の貴重なピアノです。